

# 理科は楽しいよ

磯本 真生さん  
(向津具小学校6年)

ぼくの学校には、この1年間、理科支援の先生が来られ、5・6年生の理科の実験の準備や授業でのアドバイスをしてくださいました。ぼくは、この理科の時間がとても好きになりました。

ぼくが特に心に残っているのは、ふりこの実験でした。片山先生が、「ふりこの長さを何センチにすると、1往復する時間を1秒にできるかな。」と問いかけられました。「ぼくは「絶対に1秒になるふりこの長さを見つけてやるぞ。」とやる気になりました。



理科の実験の様子

そして、これまで学習したことを思い出し、長さを21センチにして実験してみました。結果は惜しくも0.9秒でした。友だちが別の長さで実験した結果、23センチが1秒になっています。

ぼくは、ぴったりにはなりませんが、実験により問題を解決することの楽しさを体験することができました。

この1年間、片山先生には、楽しい実験の仕方をたくさん教えていただきました。また、6年でもいろいろなお話を片山先生に習えたらいいなと思っています。

## 連絡帳

### フジミツ(株)と共同開発 “おさかなドーナツ”



松本 明子さん  
(水産高等学校3年)

私達は、魚と長門産のゆずきちを使った「おさかなドーナツ」を作りました。それは、フジミツ(株)と共同開発したものです。

先日、美東町の「きららオーガニック・ライブ」でのドーナツを販売しました。私は、人前に立つのが苦手だけど、声をかけたお客様が笑顔で答えてくれて、楽しく販売することができました。また、頑張った商品がたくさん売れたのでうれしかったです。

ドーナツを販売するまでに、色々なことに取り組みました。いつも安定した食感のドーナツを作るよう、レシピを完成させたり、いちご味など、姉妹品の試作をしたり、包装ラベルを作ったりと、今までやったことのないことばかりで、苦労もあつたけど、とてもいい経験でした。特にラベル作りは、たびたびフジミツを訪問し、アドバイスをもらいながら、自分達で作ったので、とても達成感がありました。

この企画に関わって、商品ができるまでの過程や、販売の時のお客様への接し方など、色々なことを知りました。今回学んだことをむだにしないよう、これからも色々なことに挑戦したいです。



フジミツ(株)スタッフの皆さんと記念撮影

# 長門の People

## 子育て、応援します

池岡 吉恵さん  
(長門市ファミリーサポートセンターアドバイザー)

育児のお手伝いをして欲しい人と、お手伝いをしてあげたい人が入会し、育児を助け合う「長門市ファミリーサポートセンター」が昨年8月にオープン。センターでアドバイザーとして依頼の仲介や登録会員の募集、PR活動などをされている池岡さんにお

話を聞きました。

### ファミリーサポートセンターはこんなところ

「ファミリーサポートセンターは、地域の同士で育児を助け合う組織。私も買い物や美容院に行きたい時とか、ちょっとした時に、少しでも子どもを見てもらえたらと思うことがあります。私のときにもこんなセンターがあったら良かったなと思いましたね。子育て中の人にとってはとても良いシステムだと思いますよ。」

現在のセンターの登録者数は、手助けを必要とする「依頼会員」が52人、手助けを行う「提供会員」が38人、手助けを受けた時、ときには手助けを行う「両方会員」が16人で合わせて106人。もっと多くの人に会員になってもらい、助け合いの輪が広がるよう

に、健診会場など多くの人が集まる場所に出向きPR活動を行っているそうです。

### 喜んでもらえることが私の喜びに

「人見知りのお子さんで、預けることが不安だったお母さんが後日『子どもはすぐうち解けたみたい。いい人を紹介してくれてありがとう』と、喜んで報告に来てくれたり、都会に住む自分の孫と同じくらいの子どもを預かった提供会員さんから『孫の姿が思い浮かんでとても楽しかった』という話を聴いたりすると、とてもうれしい気持ちになります。苦労も吹き飛んでしまいますね。」依頼会員、提供会員、そしてその間にいる子どもたち。池岡さんは、そのみんなに喜んでもらえる仲介を心がけています。

### 安心して子育てができる環境を作りたい

センターでは、センターのしくみを知ってもらう事前講習会や、会員同士の信頼をより深めてもらうための交流



交流会の様子

会、もしもの時の心肺蘇生や人工呼吸法などを学ぶスキルアップ講習会など、会員が安心して預けたり預かったりできるような取り組みを定期的に実施しているそうです。

「皆さんが気軽に利用していただける雰囲気を作りたいです。依頼以外でもちょっとした相談などでも来ていただけるようなセンターになればいいと思います。」

育児を頑張っている人たちに、安心して子育てが出来る環境を作ってあげたい。池岡さんの一生懸命な思いが伝わってきました。

▼長門市ファミリーサポートセンター連絡先  
Tel 23・1011